

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	認定特定非営利活動法人 DARC
評価者氏名（職名）	松田 美枝（京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科准教授）
評価対象期間（年度）	令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

1 法人の事業活動，組織運営等に関する状況

（1）事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は，組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合，基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に3件程度記入。

項目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合*
事業名 薬物依存症者の回復支援事業	80%
事業名 薬物依存症・薬物乱用の予防啓発事業	10%
事業名 薬物依存症者の家族ケア	10%

※ 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

（2）組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき，総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき，理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また，総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法，登記に関する法令（組合等登記令），税に関する法令（法人税法等），労務に関する法令（労働基準法等），事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供←介護保険法の適用）など

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など

薬物依存者は、刑務所を出所あるいは精神科医療機関を退院しても、薬物に対する渴望が消失するわけではなく、元の生活に戻れば簡単に薬物を入手することができ、また、社会の偏見の目に晒されることが多く、安心感を持って回復に取り組める場を見つけることは容易ではない。そのような状況に置かれた当事者を、京都 DARC はさまざまな方法によりサポートし、薬を使わずに生きる生活を共に実践している。

具体的には、ネクサス1・2での共同生活援助およびネクサス3において居宅生活を安定して送れる環境を整え、スタッフが寝泊まりしながら見守っている。日中の活動としてはデイセンター・マハロにおいてミーティングや昼食作り、レクリエーション等を新型コロナウイルス感染症に注意しながら行っている。また、ボランティアや農作業を通して、DARC メンバーが地域の方々と交流する場も多く設けられており、地域に馴染み、地域の中で回復していくための活動がなされているものと思われる。

地域団体との連携としては、本人・家族・関係者への電話および面接による相談援助を行っている上に、刑務所、更生保護施設、保護観察所、大学など他機関との連携のもと、当事者への支援が、直接的・間接的に行き届くように活動を行っている。

広く社会に対する普及啓発活動としては、ニュースレターの発行・発送を行うとともに、学校の生徒や保護者、教職員への講演などを行っている。また、精神保健福祉センターの依存症セミナー等で体験談を話すことで、薬物依存症についての理解を深めてもらうことに貢献している。

以上について特に改善点は見当たらないが、新型コロナウイルス感染症対策を今後も気を緩めずに行うことが求められる。また、新しくできたグループホームが地域に馴染んでいくように、住民との対話に今後も努めることが望ましい。

3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など

財務管理は適正に行われており、そのことは、監事の弁護士2名により確認されている。組織運営については、施設内の研修を定期的実施しており、また施設外の研修にも参加して、知識や技術の更新に努めている。

安定運営が行われており、特に注文を付けることはないが、通所メンバーの回復支援を最優先の使命としつつも、京都 DARC の活動の意義を理解し支えようとしてくださる、より多くの方々に、それぞれができる形（直接的・間接的）で関わり続けて頂けるような体制の維持が望ましいものと思われる。

《評価対象法人記入欄》

4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
新しくできたグループホームが地域に馴染んでいくように、住民との対話に今後も努めることが望ましい。	近隣の方々に出会ったときの挨拶や近くの公園の清掃を行っている。今後、地域の催し物にも積極的に参加していきたい。
京都 DARC の活動の意義を理解し支えようとしてくださる、より多くの方々に、それぞれができる形（直接的・間接的）で関わり続けて頂けるような体制の維持が望ましいものと思われる。	年6回のニュースレターの発送、寄付をしてくださった方へのお礼状の送付。年一回のフォーラムはコロナ感染予防のため中止。今後、フォーラムに代わる活動を検討したい。

備考（審査委員会のコメント）

法人の事業は社会的に大変意義のあるものであり、着実に実施されていることを評価したい。
コロナ禍において、法人の社会資源としての必要性は高まっており、この先さらにニーズが増えていくと予想される。そのため、法人の社会的認知を高めていく好機になると思われるので、PRや応援者の獲得につなげていただきたい。
また、オンラインを活用した相談対応等、入居者以外の方に対する支援も引き続き行っていただきたい。